

(別紙)

令和6年度(令和5年度からの繰越分)障害福祉分野のロボット等導入支援事業
(施設等に対する導入支援分) 事業報告書

※導入機器ごとの効果や目的等を把握するため、導入機器ごとにそれぞれ作成をしてください。(一体的に利用している機器を除く)

自治体名 埼玉県

【基本情報】

フリガナ	シャイフクシホウシンサイタマケンシャイフクシギョウダン
法人名	社会福祉法人埼玉県社会福祉事業団
フリガナ	ソウカコウセイエン
事業所名	そうか光生園
施設・事業所種別(指定を複数受けている場合は、補助上限額を適用する施設・事業所を選択)	
障害者支援施設	
職員数(常勤換算数)【「従事者の1ヶ月の勤務時間」/「事業所等が定めている、常勤の従事者が勤務すべき1週間の時間数 × 4(週)」にて算出(産休・育休、休職は除く)】	
37.1 人	

(1)主な導入機器内容(種別・機器名等)

機器の種別: ☐ 排泄介護 ☐ 排泄支援 ☐ 入浴支援
☐ 移動支援 ☐ 見守り・コミュニケーション

機器名(導入台数) 見守りケアシステムベッド(FBR-NI35)一式 1台

(2)ロボット機器等導入前の定量的指標及びロボット機器等導入後の定量的指標

① ロボット機器等導入前の業務時間内訳

業務内容		A.業務従事者数	発生件数		D.1件当たりの 平均処理時間(分)	人時間 E(A×C×D)	1人あたり 業務時間 (C×D/A)
			B.ひと月当たり	C.年間発生件数(B×12)			
直接介護	1 移動・移乗・体位変換			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	2 排泄介助・支援			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	3 生活自立支援(※1)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	4 行動上の問題への対応(※2)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	5 その他の直接介護			0 件		0 人時間	#DIV/0!
間接業務	6 巡回・移動			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	7 記録・文書作成・連絡調整等(※3)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	8 見守り機器の使用・確認	4 人	6,000 件	72,000 件	5 分	24,000 人時間	1,500 時間
	9 その他の間接業務			0 件		0 人時間	#DIV/0!
			6,000 件	72,000 件	5 分	24,000 人時間	#DIV/0!

※1 入眠起床支援、利用者とのコミュニケーション、訴えの把握、日常生活の支援

※2 徘徊、不潔行為、昼夜逆転等に対する対応等

※3 利用者に関する記録等の作成、勤務票等の作成、申し送り、文書検索等

以下の※1及び※2については、ロボット機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>B.ひと月当たり発生件数の算出方法

見守り機器による介護の必要な入所利用者数50名 一日4回程度が必要
50名×4回×30日=6,000件 (見守り機器の使用及びナースコールによる応答)

<※2>D.1件当たりの平均処理時間の算出方法

見守り機器の操作・確認時間及びナースコール対応による平均時間

② ロボット機器等導入後の業務時間内訳

業務内容		A.業務従事者数	発生件数		D.1件当たりの 平均処理時間(分)	人時間 E(A×C×D)	1人あたり 業務時間 (C×D/A)
			B.ひと月当たり	C.年間発生件数(B×12)			
直接介護	1 移動・移乗・体位変換			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	2 排泄介助・支援			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	3 生活自立支援(※1)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	4 行動上の問題への対応(※2)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	5 その他の直接介護			0 件		0 人時間	#DIV/0!
間接業務	6 巡回・移動			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	7 記録・文書作成・連絡調整等(※3)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	8 見守り機器の使用・確認	4 人	5,940 件	71,280 件	5 分	23,760 人時間	1,485 時間
	9 その他の間接業務			0 件		0 人時間	#DIV/0!
			5,940 件	71,280 件	5 分	23,760 人時間	#DIV/0!

以下の※3及び※4については、ロボット機器等導入後の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※3>B.ひと月当たり発生件数の算出方法

見守り機器による介護の必要な入所利用者数50名
・一日4回程度が必要 49名×4回×30日=5,880件
・機器導入により一日2回程度が必要 1名×2回×30日=60件 合計5,940件 (見守り機器の使用及びナースコールによる応答)

<※4>D.1件当たりの平均処理時間の算出方法

見守り機器の操作・確認時間及びナースコール対応による平均時間

年間業務時間数想定削減率(%)

1.0%

(3)削減率が20%を超える場合は、その要因について記載すること。

(4)ロボット機器等の導入により得られた効果

常時見守りが必要な状況の利用者の直接の見守りの巡回回数を減らし、危険な単独での離床にも早急に気づき対応できるようになった。また夜間の巡回は利用者の睡眠を妨げる場合があるので、離れた場所からの離床状況、脈拍、呼吸の把握は利用者の睡眠の確保と職員の安心につながっている。

(5)今後の課題

停電時やWi-Fi設備の不安定時に使用することができない。

(6)気づき等について

利用者状況の数字的な情報の把握は、客観性が高く、職員間の一貫した支援につなぎやすい。

(7)費用面での効果(ロボット機器等の導入による費用の削減の有無を必ず選択すること。)

ロボット機器等の導入による費用の削減	無
--------------------	---

ロボット機器等の導入による費用の削減が「有」の場合、以下を回答すること。

削減額(円／月)	
職員の質上げ等への充当	
その他職場環境の改善への充当(※1)	
サービスの質の向上に係る取組への充当(※2)	

(※1)その他職場環境の改善の具体的な内容について記載すること。

(※2)サービスの質の向上に係る取組の具体的な内容について記載すること。